

VER 1.0

「まち・ひと・しごと」創りの拠点をここにつくる

熱海フォーラム 整備事業基本構想

© 情報戦略アナリスト 野 □ 敬

当市の現況やニーズに沿う明確なコンセプトを持つ構想を……！

1

当地にとって一番重要な課題は、産業構造を抜本的に見直し、新規事業の創出により若い人たちが安心して住める街にするための『しごとづくり』に他なりません。

——「まち」を創る。「ひと」を創る。「しごと」を創る。その中核となる場が「熱海フォーラム」です。

事業の内容や成果、推進主体が明確な構想を……！

2

抽象的な「豊かな暮らし」というテーマを、いかに具体的な事業プランとして提示できるか、熱海フォーラム構想ではそれが一番問われています。

- どれだけの「しごと」を創れるか？
- 誰がその「しごと」を創るのか？
- 新たな「しごと」はどれだけの価値を生むのか？

——本フォーラム構想には、それを明確にしたプランを示さなくてはなりません。

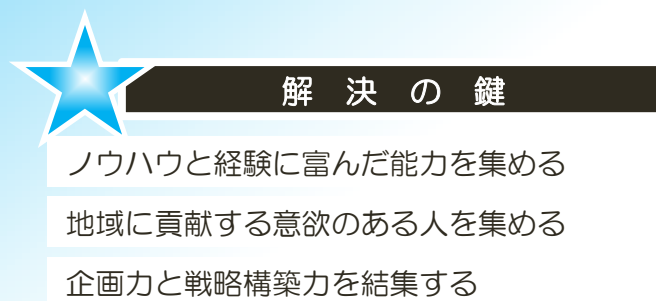
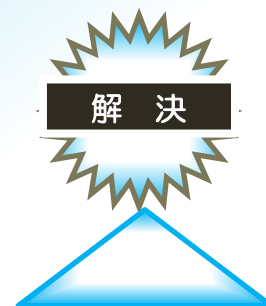
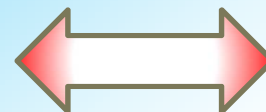
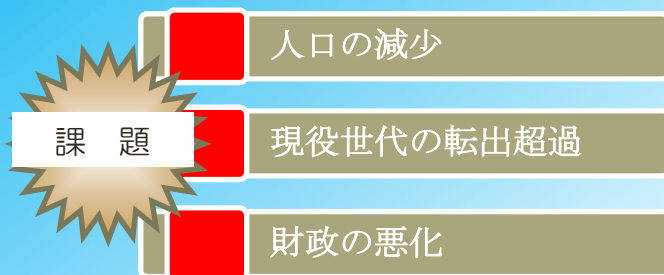
「地域創生」施策のモデルとなる構想を……！

3

安倍内閣の提唱する「まち・ひと・しごと」創生を先取りし、「まち・ひと・しごと」創りでは全国に先駆けたモデルとなれるプランを実現します。

国や県が率先して助成の対象としうるモデルを作ることが当フォーラム運営の基盤となります。

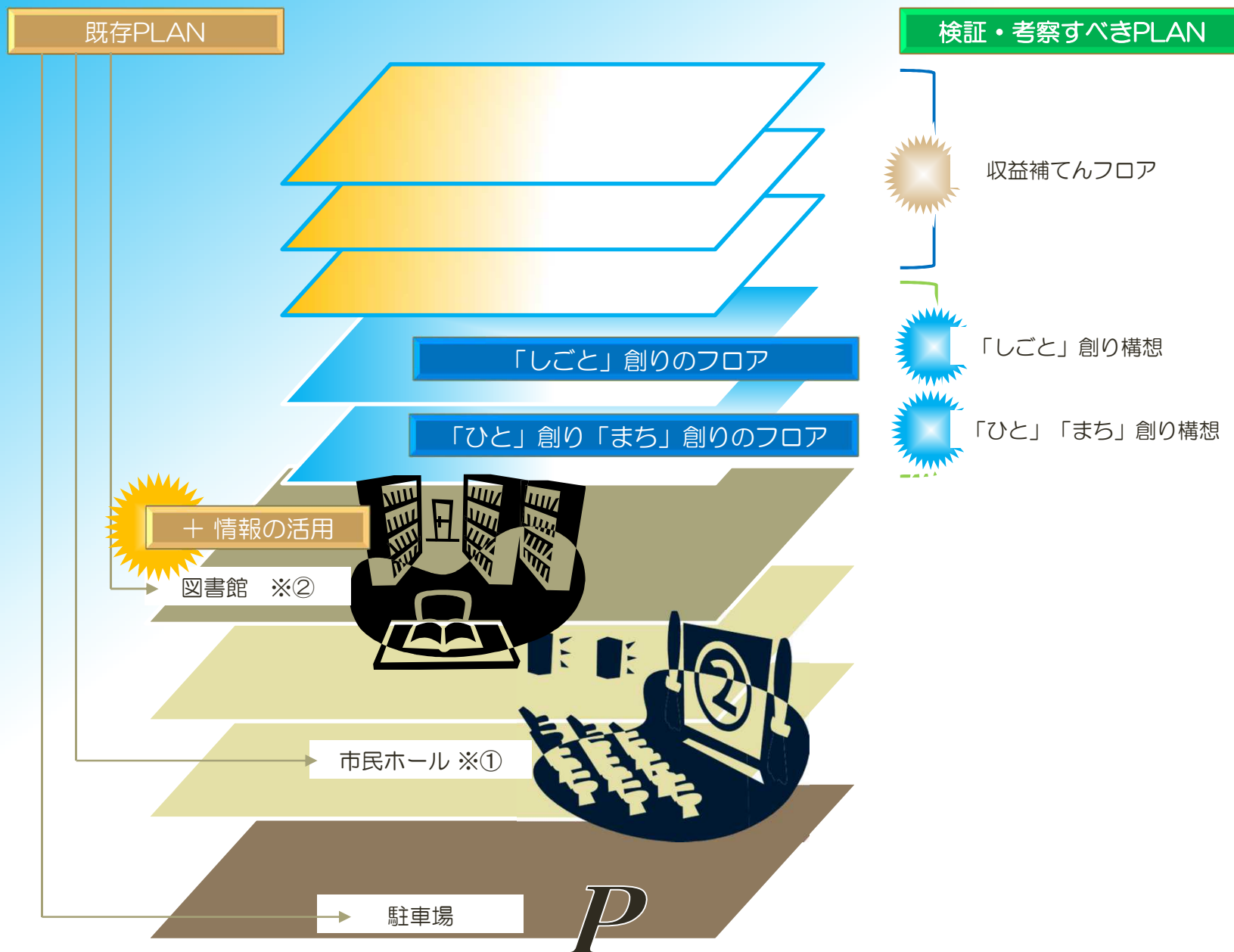
必要なCONCEPT



熱海に移住してきた方々の中には、全日本レベルの優れた能力とノウハウを持つ方々が数百名規模でいます。こうした方々にとって、自分の経験や能力が地域の役に立つと思えば地域への貢献を厭いません。

その力が熱海の持つ最大の資源であり、安いコストで当地の抜本的な活性化が行えるのです。

構想の検証



※：注①：現プランにある「市民ホール」は必要な企画です。

※：注②：現行図書館の賃料を考察すれば移設の必要は合理的ですが、単なる図書の陳列と貸し出し機能だけでは時代のニーズに適合できません。

POINT

- 紙から情報へ。それが次世代に生きる子供たちをはぐくむ図書館の務めです……！
- わかりやすく情報リテラシーを学べる。シニア世代にとってのよりどころもここで築きます。

ITリテラシーエリア

- 地域の情報も、宅配買い物の案内も電子メディア化される時代。シニア層にとっても情報のリテラシー（読み、書き、そろばん）の基礎知識は避けて通れません……！
- もちろん次世代を担う子供たちにとっても学校で教えてくれない本物のIT基礎知識を早いうちから身につけたいものです。
- 小学生やシニア層でもわかるよう、移住者のベテラン講師が優しく電子メディアの使い方を教えます。

デジタル閲覧エリア

- 次世代に生きる子供たちにとっての基礎能力とは、有益な情報を集めそれを活用する技術です。
- 最新のタブレットを貸出し、どこに行っても、どんな仕事をしてもし使い物になるよう、紙の情報から電子化された情報に早いうちに触れ、それを活用する能力を養います。

既存図書館機能



「ひと」創り＆「まち」創り

POINT

- 地域の未来を担う「ひと」創りのために必要なすべての機能を網羅したフロアを設けます。
- 学校では教えてくれない知識やノウハウを未来を担う子供たちに伝え、「まち」創りの担い手までに育んでいく。そうした場が当地には必須です……！

「ひと」 「まち」創り教室

- 学校教育だけでは十分にカバーできない知識やノウハウを中心に「ひと」創りのための教室を設けます。
- また、これから「まち」創りを担う方々のための実務教育の場とします。
- 地域情報発信のための演習コーナーも開設します。

熱海コミュニティステージ

- 「まち」創りをを行っている各地のコミュニティのための発表の場です。
- 「まち」興し活動やイベントの案内、作成したアートや工芸品の紹介などの活動紹介は、3Dミニシアターで恒常的にディスプレイします。

ミーティングコーナー

3Dミニシアター

ネットワーク事務室

「ひと」創り「まち」創りのフロア

- 「まち」創りを担う方々が相互に経験を交流したり、経験を持ち寄ってより意義のあるイベントの開催が行えるよう、事務の代行処理を含め総合交流業務事務室を設けます。

「ひと」創り&「まち」創り SUPPORT PROGRAM

対象	コース（小・中・高校生／シニア層）
小学生対象	これからの時代に生きるための力とは
	情報って何だろう、どう使えばよいのだろう
	身につく役立つ情報とは
	ネットつながりのルールとマナー
中学生対象	コンピューターのやさしいしくみ
	情報を使いこなす意味としくみ
	中学生にとって役立つ情報とは
高校生対象	情報処理と情報システムの歴史と将来
	情報システムの基本的な仕組みと今後の発展
	情報の整理と表現の技術
	生活や仕事に役立つ情報を作成・発信しよう
	グローバル時代に生きるための情報知識
シニア対象	タブレットはこんなにやさしい
	子や孫たちとの電子つながりを作っていこう
	情報を自由に使えると生活がとても楽になる

対象	コース（「ひと」・「まち」創り実務者）
「ひと」創り 「まち」創り実務者	企画考案の基礎技術
	創造性育成とオリジナリティーの基礎
	情報の集め方と分類の仕方
	資源の確認と使える資源の見分け方
	ひと・もの・かね資源の調達技術
	ひと・もの・かね資源の活用技術
	資源の評価技術
	資源分析から見る成果算定の技術
	マーケット分析の技術
	ユーザーニーズ分析の技術
	企画書作成の技術
	ビジネスモデル立案の技術
	モデル構築の演習／評価演習
	詳細運営モデルの構築演習
	事業計画書の作成演習

「しごと」創りはここから

POINT

- 「しごと」創りで一番大事なポイントは創業時に手厚いフォローがあること……！
- せめて創業から三年間は、家賃の心配や設備への投資、そして事務作業のわずらわしさをせずに、事業に集中したいものです。
- このフロアでは、熱海の若い人たちが安心して「しごと」創りに取り組むための孵卵器＜インキュベータ＞の機能を提供します。

レンタルオフィスエリア

- 当地で起業しようと企図する人たちのために三年間を限度として無償でオフィススペースを貸し出します。
- 事業計画書を基に選考を行い、利用者を決定します。
- 豊富な事業化推進ノウハウを持つスタッフが適時事業戦略をフォローします。

カンファレンスエリア

- 来客の応接
 - 来客への商品説明
 - 企画会議／販売会議等
- ビジネスを進めていくために欠かせないプロセスを支援する場です。

デジタル工房

- 3Dプリンター
 - レーザーカッター
 - 3Dスキャナ
 - 各種編集／印刷／製本システム
- 等を備え、アイデアを具体的に製品化する工程を支援します。

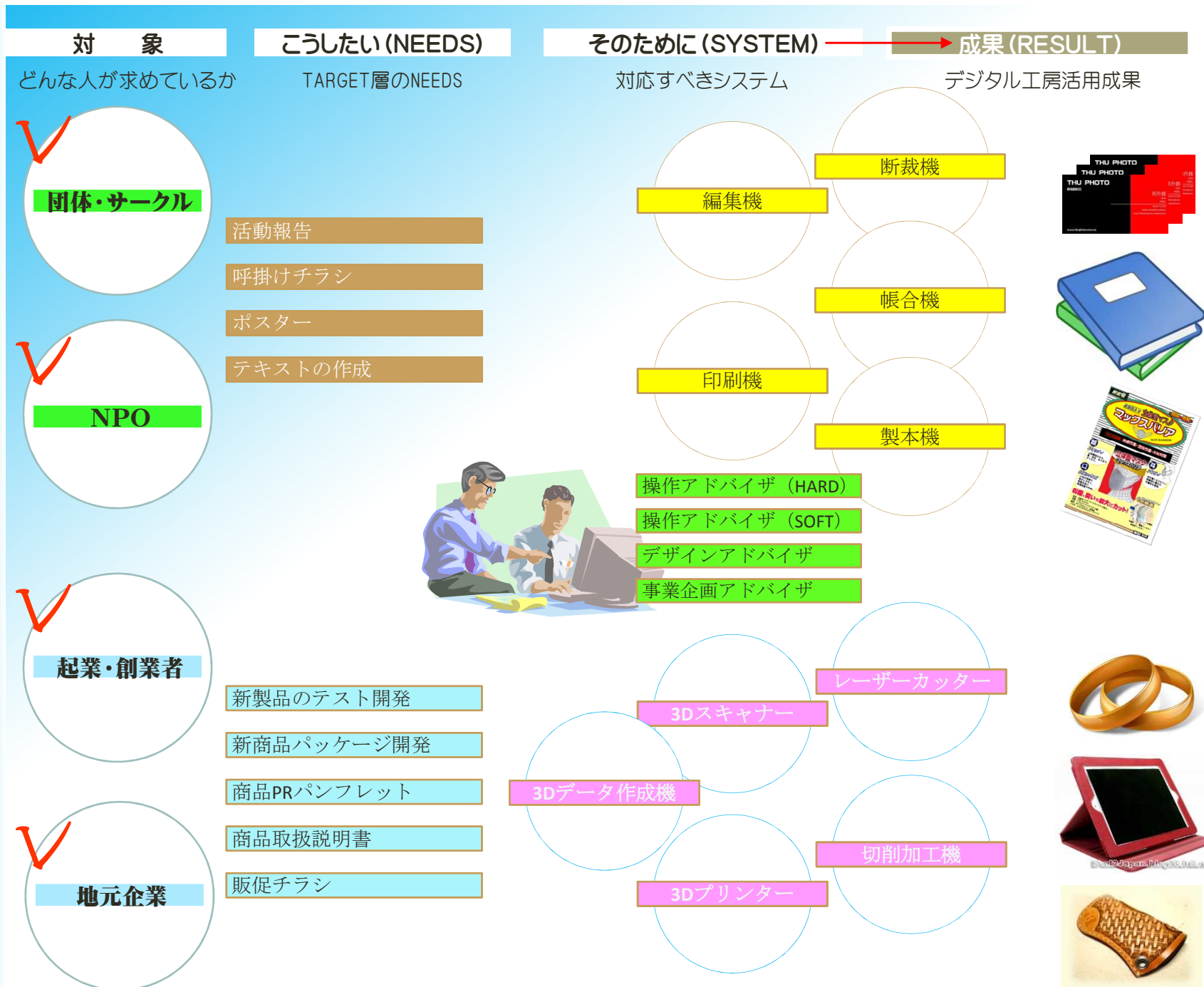
総合事務カウンター

- 新たに創業する人たちにとって、電話対応や書類の授受、来客の案内など日常業務が大変です。
- ここでは、仕事に集中できるよう事務の代行処理を含め総合案内／総合受付業務を代行します。

「しごと」創りのフロア

「デジタル工房」が経済を活性化する

COMPOSITION



「しごと」創り TARAET

当地における起業の環境

- 移住者を中心とする豊富な知的資源の活用
- 移住者の地域貢献意欲の活用
- シニア層対象ビジネス／環境客対象ビジネスの好地
- 自然・温泉と都会から近い立地環境を活かす事業の好地
- 立ち遅れたハイテク／高度情報化産業の育成
- 起業基盤となる創造性の活性化と地元企業の事業多角化

当面実施すべき事業

初年度実施事業

- サテライトオフィス構築支援事業
- メンタルケアリゾート構築支援事業
- 地域／事業者情報発信：ホームページ作成支援事業
- 「自己実現」：自分史作成支援事業
- エンディング披露DVD作成事業
- 創造性活性化教育事業
- 3Dプリンタを用いたアクセサリ作成事業

<http://sumu-atami.com/change.html>：参照

● 本「しごと」創り支援事業により、初年度5社／2年度8社／3年度10社の企業を創出し、3年間で200名の雇用を創出します。爾後3年ごとに20社ずつの新規起業家生み出します。

「しごと」創り

SUPPORT PROGRAM

ノウハウと技術の支援

移住者ネットワーク

移住者ノウハウ

評価 → 検証 → 支援 → サポート

意欲

市場分析

資源調達

事業明細書

資源

差別化

技術支援

提案

能力

C/P

販売戦略

事業計画書

創業意欲のある方々への起業支援

サービスと設備の支援

丸紅情報システム

Trotec

